



Vol. 89 化学物質過敏症 ①

化学物質過敏症とは？

一度に多量の化学物質に接触したり、少量でも長期にわたって接触し続けることにより、その人の体の許容量を超えた時に一気に発症する極めて深刻な環境病

最初は1種類の化学物質に反応していただけでも、経過とともに様々な化学物質に反応するように変化する = 症状が重くなるのがやっかいなところといわれています。

そもそも私たちは化学物質をどんな風に体内に取り込んでいるのでしょうか。

実は...

食べ物
飲み物
ヒマカ
その他
約 20%



空気(肺)
から
80%

一見わかりようだが「食べた物は身体材料だから！」

化学物質過敏症が「極めて深刻な環境病」といわれるのは、飲食物や化粧品などは自分で取扱をコントロールできるけれど、空気はコントロールしきれないというところにもあるのだから。

目に見えず、その存在に気付かないものも多い、化学物質の数々だから、どんなものがあるのでしょうか？

- ・ 防虫剤類 ... 無臭でも有害性は高い
- ・ 殺虫剤 ... 防シロアリ剤・ゴキブリ退治・蚊取り線香など
- ・ 合成洗剤類 ... 衣類用・食器用・柔軟剤・漂白剤ほか
- ・ 清掃用品類 ... バス・トイレ用ほか
- ・ 消臭剤・芳香剤など
- ・ 各種化粧品 ... ハアゲア・ボティケア用品など
- ・ クリーニングの溶剤 ... 服などに染み込んでいる
- ・ 農薬類 ... 除草剤・殺虫剤・消毒剤ほか
- ・ 塗料やインクの溶剤 ... 筆記用具・印刷物ほか
- ・ 電磁波 ... 家電製品・パソコン・携帯電話ほか
- ・ たばこの煙
- ・ 排気ガス



～CS支援センターフレットより～

どれも身近なものはかりだから！
体の許容量を超えないように、予防の視点からせよ
参考にしてみよう☆